

ニーズウェル (3992・東1)

経常利益10期連続過去最高見込む 新中計発表、売上高100億円目指す

2020年9月期業績

売上高	53億6400万円 (前期比2.8%減)
営業利益	4億9200万円 (同3.0%減)
経常利益	5億1400万円 (同1.8%増)
当期純利益	3億4700万円 (同0.1%増)

2021年9月期業績予想

売上高	58億円 (前期比8.1%増)
営業利益	5億3700万円 (同9.0%増)
経常利益	5億3700万円 (同4.4%増)
当期純利益	3億7000万円 (同6.5%増)

直近株価	683円 (21/1/28)
PER	15.8倍
PBR	2.63倍
配当利回り	2.49%

ITシステム開発・運用・保守を行うシステムインテグレータのニーズウェル(3992)は、2021年9月期からの新中期経営計画を発表。23年9月期の最終年度数値目標として、売上高100億円、経常利益10億円を掲げる。主力の業務系システムは70%の売上構成比を維持して着実に利益を確保し、ソリューション・ビジネスを成長ドライバーとして売上構成比15%まで高めていく。また投資の中長期的な需要拡大を見込み、人材採用や物流向けシステム開発、M&Aなどの先行投資も積極的に行なっていく。

同社は、業務系システムは金融系を中心に展開し、顧客は生命保険会社、銀行、大手キャリアなど。明治安田生命やソフトバンクといった大手企業を含む直接取引が売上の50%を超える。20年9月期決算では売

上高が前期比2.8%減、営業利益が同3%減、経常利益が同1.8%増、当期純利益が同0.1%増となった。新型コロナの感染拡大で、一部案件の遅延や製造向け案件の受注が減少したことが影響した。一方、ソリューション・商品等売上では、製品の独自性が評価され売上が同118.5%と伸長した。5G到来で重要性が増すセキュリティソリューション、RPAやクラウドによる業務効率化ソリューション、DXをアシストするAIソリューションを展開している。

今期の通期業績予想は、売上高が同8.1%増、営業利益が同9%増、経常利益が同4.4%増、当期純利益が同6.5%増と増収増益の見通し。経常利益は10期連続過去最高を更新予定で、10期連続増益を見込む。連続増配中の年間配当は1円増配の17円を予定している。配当性向は39%となる。